

車両から出火した火災事例

火災概要

本件火災は、高速道路を走行中に異音がしたため一般道路において停車した後に出火したものです。

原因概要

エンジンオイル不足であったため、走行中にエンジンが焼付を起こし、エンジンの一部が破損したことでエンジンオイルが漏れ排気管に付着し、出火したものと推測しました。

※ エンジンオイルはエンジン内部の金属部品を潤滑し、摩擦を軽減する重要な役割を果たしており、エンジンオイルの劣化や不足がある場合に異音が発生することがあります。

古い車にあっては特にエンジンオイルの消費量が多く、定期的なエンジンオイル交換を心掛け、日頃よりエンジンオイルの漏れ、適正量の維持と劣化によるエンジン不良リスクを避けることが大切です。



！！！火災が発生したら！！！

走行中であればハザードランプを点滅させて後続車に対し、緊急事態が発生したことを伝えてください。その後、路肩側に停止して携帯電話などで 119 番に通報するとともに、自らが危険にさらされない範囲で初期消火に努めてください。

(類似火災の防止)

- ・エンジンオイルの量と汚れの常時点検。
- ・一定の期間または距離でのエンジンオイル交換。
- ・特に高年式・多走行の車両は点検を入念に実施してください。
- ・警告灯の点灯または異常を確認したときは使用をやめ、点検業者へ依頼してください。

…火災が発生した場合は、直ぐに消防(119)へ通報してください。…